

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公表番号】特表2005-510196(P2005-510196A)

【公表日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-015

【出願番号】特願2003-546457(P2003-546457)

【国際特許分類】

H 0 2 K 1/30 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 1/30 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年11月5日(2008.11.5)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

軸線(15)を中心に回転可能に支承されて多数のリブ(12, 12')を備えるロータスパイダ(11, 11')と、ロータスパイダ(11, 11')を同心的に包囲して個別のリムシート(16, 16', 16'')から構成された積層リム(14)とを備え、その積層リムがロータスパイダ(11, 11')とキー(13)によって積層リムキー固定部を介して結合されていて、キー(13)とリムシート(16, 16', 16'')とは、固定結合の形成にて形状一体的に嵌合するように形成されており、キー(13)は積層リム(14)に向けた側面に蟻継ぎ状に形成されており、リムシート(16, 16', 16'')はキー(13)がその蟻継ぎ形状と固定結合の形成にて嵌合する窪み(18)を有するロータ(10, 10')において、リムシート(16, 16', 16'')はそれぞれに多数の窪み(18)を有し、各窪み(18)は一方の側面を蟻継ぎ状斜面(17a, b)により且つ他方の側面を直角に配置された面により形成されていることを特徴とするロータ。

【請求項 2】

リムシート(16', 16'')の窪み(18)には蟻継ぎ状斜面(17a, b)が常に窪みの同じ側面に配置されていて、リムシート(16', 16'')は積層リム(14)において重なり層で相互に積層されて交互に折り返されて配置されていることを特徴とする請求項1に記載のロータ。

【請求項 3】

リムシート(16)の窪み(18)には蟻継ぎ状斜面(17a, b)が常に窪みの交互の側面に配置されていて、リムシート(16)は積層リム(14)において重なり層で相互に積層されて配置されていることを特徴とする請求項1に記載のロータ。

【請求項 4】

ロータスパイダ(11)は斜めリブ(12)を有し、キー(13)はリブ(12)と固定結合され、特に溶接されていることを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか一項に記載のロータ。

【請求項 5】

ロータスパイダ(11')は半径方向リブ(12')を有し、リブ(12')にはキー保持体(19)が固定されており、キー(13)はキー保持体(19)に滑るように支承

されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項3のいずれか一項に記載のロータ。